

令和6年度 門川町立門川中学校 学校評価書

学校の教育目標	○ ふるさと門川を愛し、夢を抱き、主体的に行動する生徒を地域とともに育成する。				
めざす生徒像	(1) 探究心とチャレンジ精神をもつ生徒(知) (2) 自らを律し、仲間を思いやる生徒(徳) (3) 心身ともに健康でたくましい生徒(体)	めざす教師像	(1) 生徒の変化に気づき、すぐに行動できる教師 (2) 生徒の可能性を見出し、磨き上げることができる教師 (3) 新たな課題に挑戦し続ける教師	めざす学校像	(1) 生徒が自ら考え、行動する学校 (2) 教師が生き生きとした学校 (3) 生徒・保護者・地域がともにつくる学校
学校経営ビジョン	「みんなが居心地のよい楽しく・安全な学校創り」を目指す。				
評価項目	取組状況	達成状況	学校運営協議会委員意見	今後の方策	
1 学校経営	○ 学校の教育目標・方針は、地域や生徒の実態を的確に捉え、保護者のニーズを反映したものになっているか。				
学校管理運営	<ul style="list-style-type: none">学校の教育目標や方針について入学式、PTA総会、参観日等の場で説明したり、学校だよりやPTA新聞、学級通信等を配付して、保護者等への浸透を行った。 また、全職員共通理解のもと目標達成に向け取り組んだ。本校のホームページを随時更新し、生徒の活動等を積極的に発信した。	◎保護者への調査結果 【学校の教育方針を理解している。】 令和6年度 2. 9 (R5 : 3. 0) 【学校は家庭への連絡や情報提供を積極的にやっている。】 令和6年度 2. 9 (R5 : 3. 0)	<ul style="list-style-type: none">「門川未来プロジェクト」の取組は、生徒の発表も含め素晴らしいものとなっている。生徒会が中心となって校則を変更し、それを遵守しようとする取組やボランティアクラブ「ハピネス」の生徒が主体的に行動し、地域とともに活動していることは、保護者のニーズにも反映している。	<ul style="list-style-type: none">PTA総会、参観日、学校運営協議会等で、学校の経営方針や指導方針等についての説明の場を設け一層の内容浸透に取り組む。学校だよりの他、ホームページ等を活用して、生徒の活動等の情報を発信していく。	
2 学力向上	○ 生徒は学力を向上させるために、主体的に授業に参加しているか。また、教師は生徒が意欲をもって取り組む授業を実践しているか。				
学力の向上	<ul style="list-style-type: none">生徒の学力向上を図るために、全国学力・学習状況調査や、みやざき学習状況調査等の結果を分析し、平均点以下の生徒及び、中間層生徒を把握し、学力向上を目指し、授業改善に取り組んだ。学力クラスマッチなど全生徒が意欲的に取り組めるような活動を実施した。回を重ねるごとに生徒が熱心に取り組んだ。家庭学習の時間が不足している。家庭との連携を進める必要がある。	<ul style="list-style-type: none">全国学力・学習状況調査やみやざき小中学校学習状況調査等の結果は、県平均を下回っている。学力の2極化が顕著になっている。◎保護者への調査結果 【子どもの学力は向上している。】 令和6年度 2. 6 (R5 : 2. 7)◎教員の自己評価の結果 【子どもの学力は向上している。】 令和6年度 2. 1 (R5 : 2. 1)	<ul style="list-style-type: none">一部の生徒による学習環境の乱れが見られる。そのような状況の中でも、自分をしっかり持ち少しでも成長しようと努力する生徒がいる。目標を持った生徒に対する寄り添った支援が大切である。一生懸命勉強する生徒と目標を失った一部の生徒との二極化を感じる。意欲が湧かない生徒たちにやる気にさせるような体験や対話の機会をもっと多くつくって欲しい。学力については、子どもたちの学習意欲の動機付けの工夫等、改善すべき点があります。先生方の努力だけでできないことを学校運営協議委員でも支援していきたいと考えている。	<ul style="list-style-type: none">諸検査の分析を進めながら、授業改善に取り組み、全国学力・学習状況調査やみやざき小中学校学習状況調査の結果につなげていく。「家庭学習の手引き」を作成し、保護者と連携しながら、家庭学習の充実を図る。キャリア教育の実践成果を積み重ねていきながら、生徒に目標をもたせ、その実現のために努力する必要性を実感させる。次年度、保護者調査で、授業の分かりやすさについての評価を本年度より上げていく必要がある。タブレット端末等のICTの積極的活用や研究授業等の授業参観を通して、相互研鑽による授業力向上を図る。生徒の学習規律の徹底について職員間で共通理解を図り、年度当初から全職員で共通実践を行う。	
授業力の向上	<ul style="list-style-type: none">全教員が研究授業に取り組み、互いの授業を参観して意見交換しながら、授業力の向上に努めた。各種学力調査結果の分析や指導方法の工夫改善についての情報交換を行うなど教科部会の充実を図った。タブレット端末等のICTを積極的に活用した。効果も少しずつではあるが表れている。学習規律の徹底には継続して取り組む必要がある。	<ul style="list-style-type: none">授業が分かりやすいと回答した保護者の割合が0. 3ポイント下がった。今後、生徒が分かりやすい授業を目指して、教科部会を活用して考えていきたい。◎保護者への調査結果 【授業が分かりやすいと子どもから聞いている】 令和6年度 2. 5 (R5 : 2. 8)◎教員の自己評価の結果 【生徒が分かりやすい授業づくりに努めている。】 令和6年度 3. 1 (R5 : 3. 1)			

3 生徒指導	○ 生徒はきまりや時間を守り、あいさつをきちんと行う等の生活態度がしっかりしており、安心・安全に学校生活を送ることができているか。			
生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 毎週、生徒指導委員会を開催し、生徒理解に努めるとともに、生徒指導の緊急時の対応等、指導体制や指導の在り方を確認した。また、その内容を職員会等で共通理解し、共通実践に努めた。 生徒会の活性化を図り、各学校行事で、生徒自らが自治的な活動ができるよう支援した。 毎月実施している生活アンケートとその結果をいかしての教育相談を実施することで、生徒が安心して学校生活が送れるように取り組んだ。 	<p>◎保護者への調査結果 【学校は生徒指導に力を入れ、その成果が上がっている。】 令和6年度 2. 3 (R5:2. 8)</p> <p>◎教員の自己評価の結果 【学校は、どの先生も同じ方針で生徒指導ができている。】 令和6年度 2. 4 (R5:2. 5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> あいさつや時間を守る生徒がいる一方で、行動がだらしない、言葉遣いが悪い生徒も見受けられた。 一部生徒の問題行動についての学校の対応は適切であった。大多数の生徒は、明朗であいさつもできており、先生方の指導も行き届いていると感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導担当者会の定期的な開催により、生徒指導上の課題についての情報共有、解決策の検討に努める。また、学校として組織的な対応がさらに充実するように進めていく。 家庭、関係機関と連携して、問題行動等を未然に防ぐ取組や、適切な対応に努める。 生活アンケート等を活用し、いじめ防止などよりよい人間関係づくりに努め、生徒が安全・安心に学校生活を送れるようにする。
基本的な生活習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> 集会活動などを通して、時と場に応じた行動がとれるよう常時指導に取り組んだ。 清掃オリエンテーションなどを通して、清掃の時間の「無言清掃」の徹底などを図り、校内の美化活動の充実を図った。 	<p>◎保護者への調査結果 【学校は清掃が行き届き、校内がよく整備されている。】 令和6年度 2. 6 (R5:3. 3)</p> <p>◎教員の自己評価の結果 【校内の環境美化に積極的に取り組んでいる】 令和6年度 2. 8 (R5:2. 8)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 登下校時、生徒の様子を見るとしっかりあいさつできる生徒も多い。 下校時の自転車の2人乗り等、交通ルールを守れない生徒も見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で指導すべき点の共通理解を図り、あいさつや言葉遣いなど、基本的な生活習慣の定着を目指し、清掃での取組を含め、更なる指導を徹底する。 教員の指導だけでなく、生徒間の指導ができる環境をつくっていくために、生徒会活動のさらなる活性化を図る。
4 心の教育	○ 誰にでも思いやりをもち、人権感覚を高めるための指導や、いじめや差別は何があっても絶対に許さない、という心の教育に力を入れているか。			
望ましい人間関係などの心の教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会を活用して、あいさつの励行等、望ましい人間関係づくりについて呼びかけを行うなど、生徒主体の取組を積極的に行った。 人権教育の時間を設定し、一人一人の人権感覚を高める取組を行った。 	<p>◎保護者への調査結果 【学校は人権教育の推進に力を入れている。】 令和6年度 2. 8 (R5:3. 2)</p> <p>◎教員の自己評価 【学校行事は生徒にとって楽しく充実している。】 令和6年度 2. 9 (R5:3. 1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一部の生徒の生活指導に時間を割かれ、SNS等を利用したいじめなど表面化しにくい問題の対応が十分にできているか懸念がある。 生徒会活動やボランティア「ハピネス」の活動など生徒の自主的な活動の成果が上がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的なアンケート調査、教育相談等でいじめの早期発見、及びその解決を目指す。 生徒会を中心とした取組を今後も継続して取り組む。 人権教育は、全教育活動で取り組むべき内容であることを職員に意識付けて、常時指導を行う。
5 地域社会との連携	○ 学校行事等を通して、地域社会や家庭等と連携を図りながら、地域の方々と保護者から信頼されるよう、開かれた学校として機能しているか。			
地域社会との連携を図るなど、開かれた学校としての機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> 参観日や三者面談、通信、学校ホームページ等を通して、学校の教育目標や方針、教育活動等の紹介を保護者や地域に広報した。 ボランティアクラブ「ハピネス」やSPSサポーターの活動を軸として地域への活動に積極的に参加することができた。町内でも取組が周知され、「心の杜」と一緒にプロジェクトを計画するなど町づくりに参画している。 1年生の数学に、地域の数学支援ボランティア(KSS)の協力をいただき、基礎的・基本的な学習内容の定着を図っている。 	<p>◎保護者への調査結果 【学校は地域の活動に積極的に参加し、地域との連携を密に図ろうとしている。】 令和6年度 2. 9 (R5:3. 2)</p> <p>【保護者として、PTA活動の運営や活動に積極的に協力している。】 令和5年度 2. 7 (R5:2. 8)</p> <p>【学校行事(体育大会など)は充実している。】 令和6年度 2. 9 (R5:3. 1)</p> <p>◎教員の自己評価 【生徒や保護者からの相談に積極的に応じている。】 令和6年度 3. 5 (R5:3. 2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と先生以外の地域社会の方々の力と協働する方策があると思います。多様な大人をできるだけ多数、子どもたちと語り合う機会をつくって欲しい。 ボランティアクラブ「ハピネス」やSPSサポーターなど地域行事に積極的に参加している。 職場体験や「ようこそ先輩」など、社会と接点を持つ機会を積極的に設ける取組は、生徒にとって非常に有意義であり継続して欲しい取組である。 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアクラブ「ハピネス」やSPSサポーターなどの活動を通して、地域貢献活動をさらに推進していく。 通信や学校ホームページを積極的に活用して、保護者や地域に、地域人材を活用した教育活動を伝えていく。 地域連携室の活用推進を通して、さらなる学校と地域との連携強化を図る。

